

日本の農業を応援します！

# 健康な肝臓の維持 家畜の生産性向上

# KANZOU®

天然成分 甘草抽出物 100% 飼料

- 受胎
- 代謝
- 繁殖
- 育成
- 免疫
- ホルモン

**甘草** MADE IN JAPAN  
2019 特許取得



### 酪農家のテーマ

- 産褥期サポート ■ 繁殖性向上 ■ 子牛の採食性向上
- 乳成分・乳体細胞のサポート ■ 暑熱・寒冷季のサポート
- 健康な母牛 ⇄ 健康な子牛 « 繁殖は分娩前から »

**共同研究** キャトルリサーチセンター 酪農学園大学名誉教授 **小岩 政照**  
株式会社 **ファブリック大西**  
<https://www.kanzou-shiryu.com>  
〒830-1226 福岡県三井郡大刀洗町山隈2064-7  
TEL: 0942-77-3870 FAX: 0942-77-3839

特許取得:2019年 日本 国際特許申請:2021年 アメリカ・ヨーロッパ・オーストラリア・ニュージーランド・  
商標登録:2019年 カナダ・アルゼンチン・ブラジル・ロシア・タイ・中国・韓国

2019 IETS 45th Annual Conference. New Orleans, Louisiana.  
2019 第45回 国際胚移植技術学会 ニューオーリンズ・ルイジアナ  
**(株)ファブリック大西KANZOU® 給与が  
黒毛和牛の過剰排卵処置後の  
胚回収成績に及ぼす影響**

A 飼料

MADE IN JAPAN

日本製

甘草

# 誉

# KANZOU®

<https://kanzou-shiryu.com>

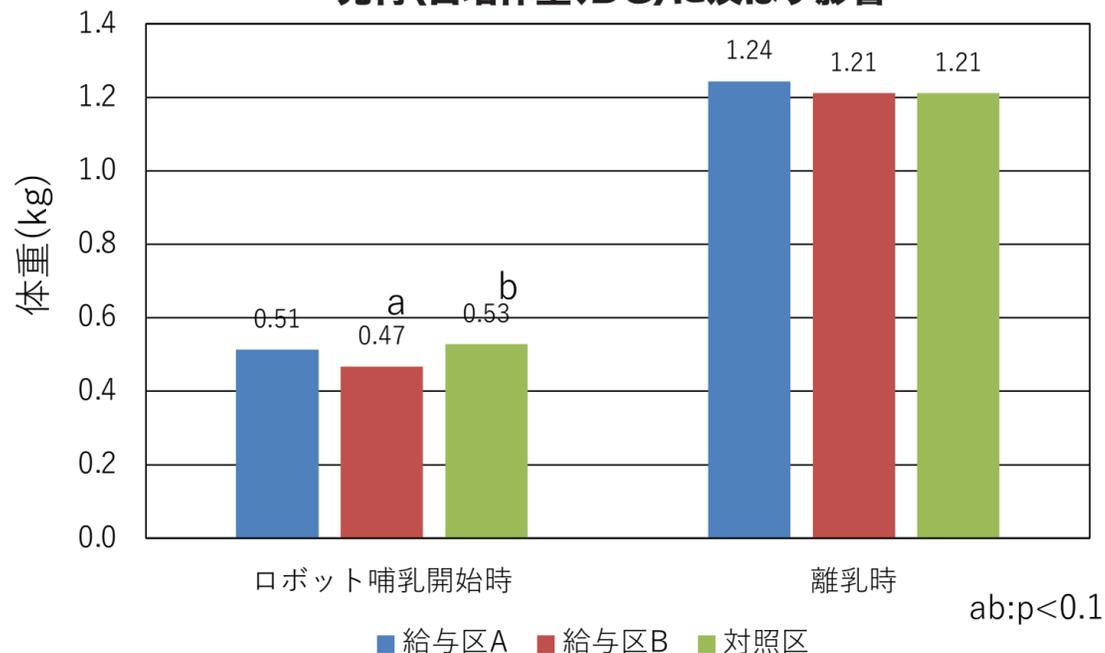
健康な肝臓の維持  
家畜の生産性向上

- 受精卵
- 肥育
- 受胎
- 代謝
- 繁殖
- 育成
- 免疫
- ホルモン

甘草 KANZOU® は、肉牛・乳牛・種牛・子牛・仔馬・繁殖牝馬・  
軽種牡馬・JRA 競走馬など、幅広く御利用頂いております。

**共同研究** キャトルリサーチセンター 酪農学園大学名誉教授 **小岩 政照**  
株式会社 **ファブリック大西**  
<https://www.kanzou-shiryu.com>  
〒830-1226 福岡県三井郡大刀洗町山隈2064-7  
TEL: 0942-77-3870 FAX: 0942-77-3839

(株)ファブリック大西 KANZOU®【蜜】給与が黒毛和種子牛の  
 発育(日増体重、DG)に及ぼす影響

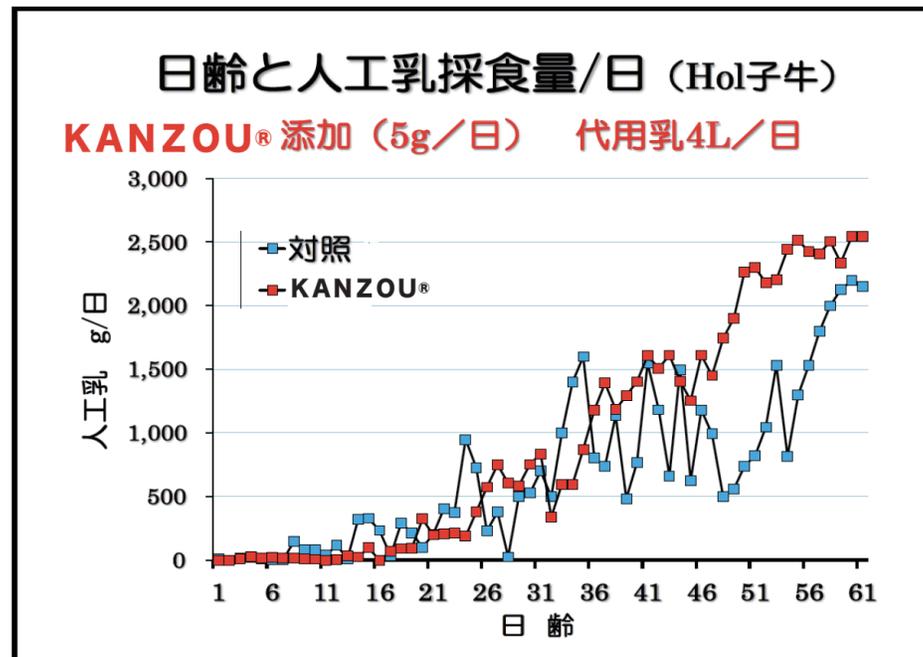
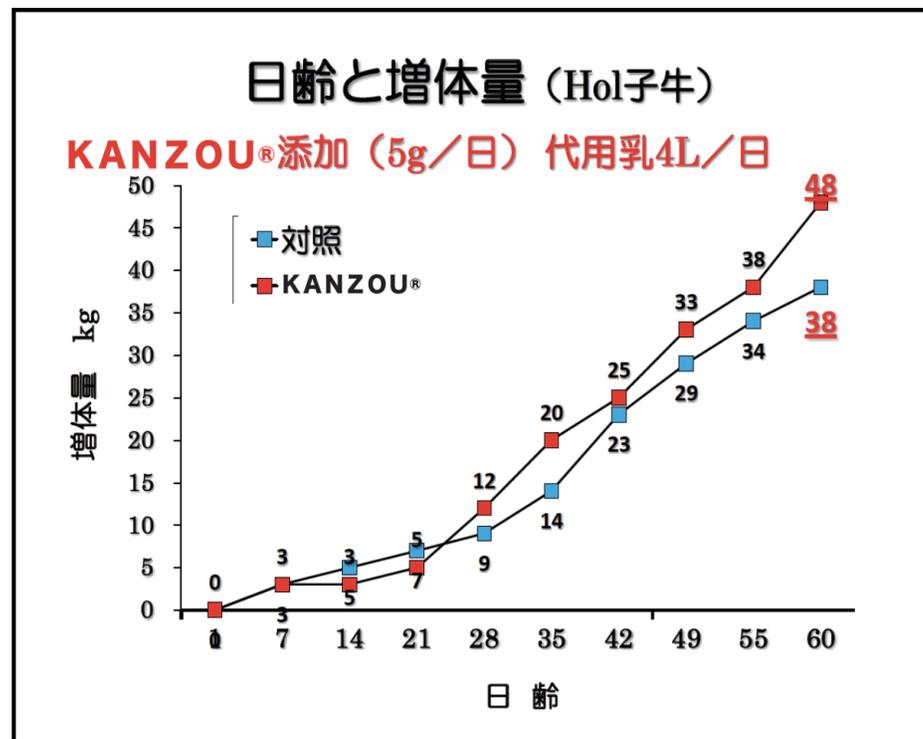


|                | 給与区A  | 給与区B  | 対照区   |
|----------------|-------|-------|-------|
| 頭数             | 16    | 16    | 32    |
| 生時体重 (kg)      | 37.8  | 37.2  | 36.7  |
| ロボット哺乳開始日齢 (日) | 48.1  | 52.9  | 55.2  |
| 離乳日齢 (日)       | 139.0 | 141.8 | 133.3 |

(データ：北海道内A牧場、酪農学園大学 堂地 修)

結果の概要

- 哺乳ロボット移動時
  - 体重に統計的な有意差はなかったが、対照区が最も重たかった。
  - DGは、対照区に比べて給与区Bが低い傾向が認められた (P<0.1)。
- 全体
  - KANZOU®【蜜】給与区が対照区より、育成移動時の体重が増加する可能性が示唆された。
  - 哺乳ロボット移動時に、何らかの理由によりDGが低くても、KANZOU®【蜜】給与により育成移動（離乳）までにDGが回復し、無給与区より体重が増える可能性が示された。
  - このことは、(株)ファブリック大西 KANZOU®【蜜】給与により栄養状態が万全でない子牛の改善が期待できる可能性を示唆している。



人工乳採食量の変動を軽減することにより  
 ルーメンの発達をサポート・離乳後のエサ食い向上

データ提供: CRCキャトルリサーチセンター 酪農学園大学 名誉教授 小岩政照

(株)ファブリック大西独自の成分含有量・配合比率に基づき給与した試験結果

株式会社ファブリック大西のKANZOU®製品の推奨給与量・給与期間は、複数の共同研究開発先で得られたデータ等を基に算出しております。  
株式会社ファブリック大西のKANZOU®製品は、給与目的に合わせて各製品における成分含有量・配合比率を独自に調整しております。  
一般の甘草抽出物とは異なった製品になっていると考えております。

**分娩前後における健康な肝臓の維持 乳成分・体細胞数のサポート  
繁殖性の向上 健康な母牛＝健康な子牛 繁殖は分娩前から始まっている**

|   | 乾乳期   | 泌乳初期  | 泌乳最盛期 | 中・後期  |
|---|-------|-------|-------|-------|
| A |       | 20g/日 | 20g/日 | 20g/日 |
| B |       | 10g/日 | 10g/日 | 10g/日 |
| C | 10g/日 | 10g/日 | 10g/日 | 10g/日 |

-60日 -30日 分娩日 30日 60日 90日

**KANZOU®【粒・粉状】産褥期における推奨給与量  
体重ベースによる算出 (体重600kg=20g/日 300kg=10g/日)**

**A ホルスタイン種・黒毛和種  
酪農学園大学・共同研究結果、弊社KANZOU®成分配合比率に基づく給与方法**

給与方法:分娩前30日～分娩後90日まで【粒・粉】を飼料等に混ぜて給与。  
20g/日=朝10g,夕10g,2回に分けて給与。  
\*総給与量:KANZOU【粒・粉】を20g/日/頭 x120日=約2400g。

**B 黒毛和種 お客様(B)の給与方法**

給与方法:仮に年1産の場合、分娩前30日～分娩後60日、もしくは妊娠鑑定まで、  
【粒・粉】を飼料等に混ぜて給与。10g/日/頭=(朝5g・夕5g,2回に分けて)  
\*総給与量:KANZOU【粒・粉】を10g/日/頭 x 90日=総給与量約900g。

**C 黒毛和種 お客様(C)の給与方法**

給与方法:仮に年1産の場合、健康な子牛も考慮した場合、分娩前60日～分娩後60日、  
もしくは妊娠鑑定まで、【粒・粉】を飼料等に混ぜて給与。  
10g/日=朝5g,夕5g,2回に分けて給与。  
\*総給与量:KANZOU【粒・粉】を10g/日/頭 x120日=約1200g。

**濃厚飼料・代用乳等の給与における健康な肝臓の維持  
哺乳期・育成期の免疫サポート 飼料効率・採食性向上による増体**

|   | 哺乳期(蜜) |      |      | 育成期(粒・粉) |      |      |      |      |       |
|---|--------|------|------|----------|------|------|------|------|-------|
| A | 5g/日   | 5g/日 | 5g/日 | 5g/日     | 6g/日 | 7g/日 | 8g/日 | 9g/日 | 10g/日 |
| B | 4g/日   |      |      | 5g/日     |      |      |      |      |       |

0日 30日 60日 90日 120日 150日 180日 210日 240日 270日

**KANZOU®【粒・粉状・蜜】 哺乳期から育成期までの推奨給与量  
体重ベースによる算出 (体重300kg=10g/日 150kg=5g/日)**

**A 酪農学園大学・共同研究結果、弊社KANZOU®成分配合比率に基づく給与方法**

- ①哺乳期:0～90日齢(離乳)まで【蜜】を代用乳に混ぜて給与。5g/日/頭(朝2.5g・夕2.5g=5g)
- ②育成期:90日齢から【粒・粉】を飼料等に混ぜて給与。5～10g/日/頭(朝・夕、2回に分けて)  
尚、体重に合わせて【粒・粉】給与量を上げて下さい。  
\*総給与量:0～90日齢まで= KANZOU【蜜】450g。  
90日齢～270日齢の場合 = KANZOU【粒・粉】約1350g。  
KANZOU【粒・粉】総給与量 = 約1800g。

**B 鹿児島県 繁殖お客様(B)の給与方法**

- ①哺乳期:0～90日齢(離乳)まで【蜜】を代用乳に混ぜて給与。4g/日/頭(朝2g・夕2g=4g)  
\*親付けの場合、生後2～3週間後・スターター等を与える時期から【粒・粉】を同量給与。
- ②育成期:90日齢から【粒・粉】を飼料等に混ぜて5g/日/頭を給与。  
(可能であれば朝・夕、2回に分けて下さい。)  
\*総給与量:0～90日齢まで= KANZOU【蜜】360g。  
90日齢～240日齢の場合=KANZOU【粒・粉】750g。  
KANZOU【粒・粉】総給与量= 約1110g。  
\*御参考:2020年、繁殖B農家様の場合、早いのは210日前後で出荷(体重目安280kg～290kg前後)遅いのは270日前後で出荷(体重目安350kg～360kg前後)  
\*追記:暑熱・寒冷期サポート等の対策として、Bの給与方法に、出荷予定日の2～3か月前から給与量を増量する農家様が増えてます。

★御提案:KANZOU給与に伴う経費対策案として粗飼料の採食性向上に伴い濃厚飼料の給与量調整、飼料効率向上による増体・成長促進、健康の維持に伴う費用削減、他

**肥育牛の健康な肝臓の維持 素牛導入時のストレス軽減 代謝・免疫の向上  
安定した採食性・摂取量=肉質・枝肉重量 暑熱・寒冷期のサポート**

|   |                      |                  |                  |                  |                  |   |             |               |               |               |               |             |
|---|----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| A   | 5g<br>x<br>30日       | 2.5g<br>x<br>30日 | 2.5g<br>x<br>30日 | 2.5g<br>x<br>30日 | 2.5g<br>x<br>30日 | 0 | 5g/日<br>1週間 | 5g/日<br>1週間   | 5g/日<br>1週間   | 5g/日<br>1週間   | 5g/日<br>1週間   | 5g/日<br>1週間 |
|   | 1~10日<br>5g          | 2.5g<br>x<br>30日 | 2.5g<br>x<br>30日 | 2.5g<br>x<br>30日 | 0                | 0 | 0           | 5g/日<br>7~10日 | 5g/日<br>7~10日 | 5g/日<br>7~10日 | 5g/日<br>7~10日 | 0           |
| B   | 11~30日<br>2.5g       |                  |                  |                  |                  |   |             |               |               |               |               |             |
| 導入日 1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月 6ヶ月 7ヶ月 8ヶ月 9ヶ月 10ヶ月 11ヶ月 12ヶ月 13ヶ月 |                      |                  |                  |                  |                  |   |             |               |               |               |               |             |
| C   | 2.5g/日を出荷日(20ヶ月)まで継続 |                  |                  |                  |                  |   |             |               |               |               |               |             |

**KANZOU®【誉】 素牛導入時から肥育後期までの給与例**  
**体重ベースによる算出 (体重600kg=10g/日 体重300kg=5g/日)**

**A 鹿児島県 肥育お客様(A): 導入時のストレス軽減、健康な肝臓にリセット  
肥育前期から中期を考慮した給与方法**

- 給与例:①導入日から1か月間、【誉】5g/日/頭を給与。  
 \*基本5g/日/頭。個体の状態を見て、状態を上げたい時は10g/日/頭を給与
- ②2~5か月目までの4か月間、【誉】2.5g/日/頭を給与。  
 \*状態を見て、もし必要があれば5g/日/頭などに調整して給与。
- ③7~12か月目までの6か月間、【誉】5g/日/頭を各月内に1週間給与。  
 \*暑熱・寒冷期、餌喰いが悪い場合などは、期間や量を調整して給与。
- 給与量:①導入日から1か月間: KANZOU【誉】5g/日/頭x30日=150g。  
 ②2~5か月目まで: KANZOU【誉】2.5g/日/頭x120日=300g。  
 ③7~12か月目まで: KANZOU【誉】5g/日/頭x42日(各月内に1週間)=210g。  
 \*総給与量①②③=660g。

**B 熊本県 肥育お客様(B): 導入時のストレス軽減、健康な肝臓にリセット  
肥育前期を考慮した給与方法**

- 給与例:①導入1ヶ月目:導入日から10日間、【誉】5g/日/頭を給与。  
 導入11日目から20日間、【誉】2.5g/日/頭を給与。
- ②2~4か月目までの3か月間、【誉】2.5g/日/頭を給与。  
 ③8~11か月目までの4か月間、【誉】5g/日/頭を(各月内に1週間)給与。
- 給与量:①導入日から1か月間: KANZOU【誉】=100g。  
 ②2~4か月目まで: KANZOU【誉】=225g。  
 ③8~11か月目まで: KANZOU【誉】=140g。  
 \*総給与量①②③=465g。

**C 鹿児島県 肥育お客様(C): 通期給与+α**

導入日から出荷日までの約20か月間、指定配合(KANZOU【誉】を2.5g/日/頭を給与する比率で飼料メーカーに委託)を給与。2.5g x 30日 x 20か月 = 1500g。  
 \*導入後からは、指定配合とAの給与方法で【誉】を給与。

P.5

**G 配合錠 効能・効果**

| 1985年 グリチルリチン酸+α | 2001年 グリチルリチン酸のみ  | 2011年 グリチルリチン酸のみ  |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 肝炎・肝臓障害          | 慢性肝疾患における肝機能異常の改善 | 慢性肝疾患における肝機能異常の改善 |
| 胃炎               |                   |                   |
| 胃酸過多             |                   |                   |
| 胃潰瘍              |                   |                   |
| 十二指腸潰瘍           |                   |                   |
| 薬物過敏症            |                   |                   |
| 薬物中毒             |                   |                   |
| 食中毒              |                   |                   |
| 二日酔い             |                   |                   |
| 疲労               |                   |                   |
| 湿疹               | 湿疹                | 湿疹                |
| 皮膚炎              | 皮膚炎・口内炎           | 皮膚炎・口内炎           |
| 蕁麻疹              |                   |                   |
| ストロフルス           | 小児ストロフルス          | 小児ストロフルス          |
| 円形脱毛症            | 円形脱毛症             | 円形脱毛症             |



**KMC 効能・効果**

| 1980年 グリチルリチン酸+α                              | 2004年 グリチルリチン酸のみ |
|---|------------------|
| アレルギー性疾患                                      |                  |
| 蕁麻疹   | 蕁麻疹              |
| ストロフルス  | 小児ストロフルス         |
| 悪阻  |                  |
| 血清病   |                  |
| アナフィラキシー                                      |                  |
| ロイマチス   |                  |
| アレルギー性鼻炎                                      |                  |
| 歯齦炎   |                  |
| 食中毒   |                  |
| 神経炎・神経痛                                       |                  |
| 月経痛   |                  |
| 脚気  |                  |
| サルバルサン・マルハルゼン<br>スルファミン・プラスモヒン<br>キニーネなどによる中毒 | 中毒疹              |
| 一般薬物過敏症                                       | 薬疹               |
| 口内炎   | 口内炎              |
| 慢性肝疾患における肝機能異常の改善                             | 慢性肝疾患における肝機能の改善  |
| フリクテン   | 湿疹               |
|   | 皮膚炎              |

# Effect of feeding a licorice extract to Japanese Black cows on embryo production performance after superovulation treatment

Y. Aoyagi <sup>A</sup>, M. Takeuchi <sup>A</sup>, M. Urakawa <sup>B</sup>, Y. Oono <sup>B</sup> and M. Koiwa <sup>C</sup>

<sup>A</sup> Good Embryo Technology Inc, Otofuke, Hokkaido, Japan  
<sup>B</sup> Zennoh ET Center, Kamishihoro, Hokkaido, Japan  
<sup>C</sup> Cattle Research Center, Ebetu, Hokkaido, Japan



## Objective

The objective was to determine the effect of feeding a licorice extract that contains glycyrrhizic acid, which is known to have a liver function enhancing effect, on embryo production performance after superovulation treatment in Japanese Black cows.



## Material and Methods

Japanese Black breed cows (n=136) that had calved one to four times and had normal uteri as seen by ultrasonography after at least 40 days from the last calving were used as test animals.

Animals in the treatment group (n=90) were continuously fed 20 g/day/head of a licorice extract (KANZOU, Fabric Onishi Co.,Ltd. with at least 13% glycyrrhizic acid content) for 60-90 days until ova/embryos were collected.

The control group (n=46) received no KANZOU from the day of the last calving until ova/embryo collection.



A licorice extract (KANZOU, Fabric Onishi Co.,Ltd. with at least 13% glycyrrhizic acid)

A total of 20 AU of follicle stimulating hormone (FSH) was given intramuscularly twice a day, morning and evening, for 3 consecutive days (dose step down: 5 AU×2, 3 AU×2 and 2 AU×2) as superovulation treatment to the cows at 8-11 days post-estrus in both groups.

Prostaglandin F<sub>2α</sub> (Pronalgon F) 25 mg and 15 mg were respectively administered in the morning and evening on the third day of FSH administration.

Artificial insemination was done at 12 hours and 24 hours after the start of estrus and embryos were collected using a uterine reflux method on the 7th day post-estrus.

The mean numbers of ova/embryos collected and transferable embryos, and the mean embryo quality scores (according to the IETS guidelines) in the treatment and control groups were compared by t-test.

Chi-square test was used to compare the proportion of transferable embryos in the two groups.

## Results

There was no significant difference in the mean number of ova/embryos retrieved between the treatment group (21.7±11.8) and the control group (15.8±11.3), although the former tended to give more ova/embryos.

There was significant difference (p<0.05) in the mean number of transferable embryos collected between the treatment group (13.1±8.3) and the control group (8.1±5.3).

The treatment group (1.6±0.4) was also significantly superior (p<0.01) to the control group (2.2±0.6) in the mean embryo quality score.

In the proportion of transferable embryos, the treatment group (60.3±26.4%) was also significantly better (p<0.05) than the control group (51.2±26.0%).

## Conclusion

The results suggested that feeding a licorice extract to Japanese Black cows for 60 days or longer improves the quality of embryos obtained after superovulation treatment, and leads to an increase in the mean number of transferable embryos per cow.

Table1. Embryo production performance after superovulation in Japanese Black cows with/without feeding a licorice extract

| Feeding Licorice | No. of Donor Cows | The mean No. of embryos/ova | The mean No. of transferable embryos(%) |
|------------------|-------------------|-----------------------------|---|
| No               | 46                | 15.8                        | 8.1 <sup>a</sup> (51.2%) <sup>a</sup>   |
| Yes              | 90                | 21.7                        | 13.1 <sup>b</sup> (60.3%) <sup>b</sup>  |

<sup>a,b</sup>Values with different superscripts in the same row differ (P<0.05)

Table2. Embryo quality score of transferable embryos after superovulation in Japanese Black cows with/without feeding a licorice extract

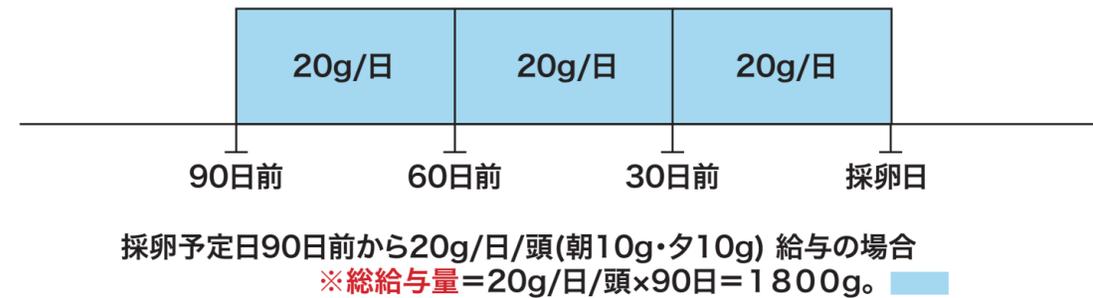
| Feeding Licorice | No. of transferable Embryos | The mean embryo quality score ±SD (IETS guidelines) |
|------------------|-----------------------------|---|
| No               | 374                         | 2.2 ± 0.6 <sup>a</sup>                              |
| Yes              | 1182                        | 1.6 ± 0.4 <sup>b</sup>                              |

<sup>a,b</sup>Values with different superscripts in the same row differ (P<0.01)

# (株)ファブリック大西 KANZOU® 給与が黒毛和牛の過剰排卵処置後の胚回収成績に及ぼす影響

- 特許取得:2019年 日本
- 商標登録:2019年
- 国際特許申請:2021年 アメリカ・ヨーロッパ・オーストラリア・ニュージーランド・カナダ・ブラジル・アルゼンチン・ロシア・中国・タイ・韓国

## 受精卵数・受精卵品質の向上



## KANZOU® 給与が黒毛和種の過剰排卵処置による胚回収成績に及ぼす影響

|              | 対象区           | 18-30日給与区     | 60-90日給与区     |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 採卵頭数         | 46            | 38            | 90            |
| 回収卵数         | 729           | 653           | 1,949         |
| 正常卵数         | 373           | 378           | 1,175         |
| 1頭平均回収卵数(範囲) | 15.83 (2~52)  | 17.18 (1~52)  | 21.66 (1~56)  |
| 1頭平均正常卵数(範囲) | 8.11 (0~23)   | 9.95 (0~39)   | 13.06 (1~44)  |
| 正常卵数         | <b>51.20%</b> | <b>57.89%</b> | <b>60.29%</b> |

データ提供: GOOD EMBRYO TECHNOLOGY グーエンブリオテクノロジー株式会社 青柳・竹内データ

# お客様の声

\*お客様のご意見・ご感想です。

\*皆様、貴重なご意見等を頂きまして誠に有難う御座います。

**牛が本来持っている能力を最大限に引き出す事が我々の目標であり、その結果が良い収益性に繋がり悩みを減らしてくれる事と思っています。**

鹿児島県 株式会社丸目畜産 丸目英明 様



子牛の育成、繁殖牛・肥育牛を管理する上で多くの課題があります。農場の環境整備・牛の健康維持・餌の質及び給与量・繁殖成績等を含め、生産性向上による収益性の増加を目標に改善改革に取り組む必要があると思っています。それらを実現する為に、各農家によって色々なアイデアや取り組み方があると思いますが、牛が本来持っている力を最大限発揮させる為にストレスの軽減緩和と肝機能強化（健康な肝機能維持）の二点を最初に取り組むべきだと思います。

私が18か月間KANZOU®給与をして、まず、導入時に風邪を引く

子牛が極端に減った事、たまに風邪を引いても治りが早い事。

次に、前期の粗飼料・全期間の稲ワラの採食量が増加、配合飼料の摂取量の安定、屠畜時の肝臓廃棄の減少など様々な効果を実感しました。

これらの事から現在の牛達は、高タンパクのミルク・配合飼料等の給与・輸入牧草・ラップサイレージ・稲ワラ等に含まれるカビ毒問題により肝機能が大きなダメージを受けている事が推測されます。（血液検査で確認済み）。

KANZOU®を給与する事により肝機能強化が内臓強化につながり、免疫力・飼料効率が上がる。下痢や風邪などの病気が減る。結果として餌食いの量が増加し発育が良くなります。

株式会社丸目畜産では、2019年7月から肥育牛にKANZOU®を利用しております。

市場からの導入時から出荷までの間に、ステージによって給与量を変えて給与しております。

（株）ファブリック大西のKANZOU®は、牛は元より畜産農家の色々な悩みやストレスを解消してくれる画期的なサプリだと思っています。

大分県 浅倉牧場 浅倉博文 様



KANZOU®を給与すると経産牛の健康状態がものすごく良くなった。

今まで種が付かないから廃用に出していた牛に受精卵が付きました。

それが顕著に、給与する前と給与始めてから顕著に違う。全く違う。

種付け・発情も順調。受胎率が良い。

お産の後の胎盤停滞がKANZOU®を与え始めてから

一頭も無くなった。お産が楽になった。難産がなくなった。

全頭にKANZOU®を与えているが顕著に違う。

特に歳を取った牛に効果がある。だから更新するはずの牛が、受精卵の

良い卵が付いて良い子牛を産める状態になっている。

うちは子牛に今与えている、それまで与えていなかったけど、KANZOU®を与えている農家さんの子牛を市場で見た時に、あれ、なんか変わった？みたいな感じですがすごく発育が良くなってきているのが目に見えて分かり、「なんか変わった？なんか餌変えた？何か変えた？牛がすごく良いのだけど」みたいな感じで聞いたらKANZOU®をやりだしてから凄く良くなったと聞き給餌始めました。

発育が良いと子牛の単価も良くなる。だからそこにお金は掛かるけど、それ以上のものが返ってくる。牛の状態が良い。個人的には肥育農家さんに使って頂くと、もの凄く良いと思う。

肝硬変により途中で崩れていく牛が崩れなくなると思う。最後までずっと良い状態を保って、

最後にビタミンを切る時にもスムーズにいけます。私は目的としては、

もちろん繁殖も良いんですけど、肥育農家さんに使って頂くと良い結果が出ると思います。肥育農家さんも絶対に肝臓のことを非常に気にされていると思う。KANZOU®を与えて悪いことは絶対に無いと思う。肥育農家を引き込むキャッチフレーズを考えたい方が良く思う。

## 第11回全国和牛能力共進会 宮城大会 2017年9月

### 第9区（去勢肥育牛）優等賞1席・農林水産大臣賞

鹿児島県 薬師 成人 様



KANZOU®（誉）を導入から出荷まで、5g/日/頭を全期間で、給与しています。使用し始めて2ヶ月程で、導入子牛における粗飼料の摂取量（2~3割）が上がるのを実感する事が出来ました。また、今までは毎年の肝臓廃棄率が9割以上ありましたが、使用し始めて半年程で肝臓廃棄率が半分以下になりました。枝肉成績では、枝肉重量で平均30kg程増加し、肉質面でも発色・テリも良好でした。何よりも、梅雨時期から夏場の餌食いが安定する事も驚きでした。

導入直後の発熱・下痢などが抑えられ、中期以降の皮膚病やその他の疾病も減っている事も助かっています。おかげさまで、獣医師の訪問回数が極端に減りました。

これからも皆様に（株）ファブリック大西のKANZOU®給与を薦める事により、さらなる収益性の向上を目指して地域の活性化への一助となれば幸いです。

大分県 渡辺康彦 様・吉竹哲司 様

我々は黒毛和牛の繁殖農家です。また、黒毛和牛の人工授精師を仕事としております。

KANZOU®は後輩の猪君から、これ凄いので騙されたと思って使用してみたいと言われて使いました。育成牛に関しては、皆さんが言うように粗飼料の食い込みや腹の膨らみが大変良くなりました。やはり、KANZOU®が肝臓の働きを格段に良くしたからだと思います。

仔牛には、ミルクに添加剤として給餌してもミルクの高脂肪・高タンパク質で体調を崩す仔牛がいましたが、KANZOU®を添加する事を始めたらそのような牛も格段に減少しました。

親牛には出産前3ヶ月から妊娠鑑定が取れるまでKANZOU®を餌に添加して給餌しております。

KANZOU®を食べた牛と食べてない牛の大きな違いが特に分かるのが初回に種付けの時に良く分かりやすいです。子宮の反応が全然違います。伸縮反応も大変良く卵子の感触も良いです。KANZOU®を使用してから牛の毛並みが良くなり種付け回数も減り商売あがったりですが、種付けのお客様にもKANZOU®を紹介しております。

また、卵巣嚢腫（らんそうのうしゅ）になった牛には獣医さんに排卵注射を打ってもらい、餌で摂取しているKANZOU®とは別に水溶性のKANZOU®を溶かし牛に飲ませております。卵巣嚢腫からの回復が早いです。卵巣嚢腫は牛の空胎期間を延長させることから畜産経営に多大な被害を及ぼす疾病の一つなので是非、皆さんにはKANZOU®を使用して牛の一年一産してもらい、出産した仔牛にもKANZOU®を与え大きな牛を作り儲かる農業をして頂きたいです。

大分県 猪有右 様



2016年から子牛・繁殖・採卵でKANZOU®粉状を使っています。最初は単品では食べないので少し工夫が必要です。

子牛は、スターターや生菌剤等に混ぜると嫌がらず食べる。

体重比率に合わせて給与量を調整しています。状態が悪そうな時は、少し多めに給餌してます。使い始めて実感した事は、KANZOU®を

給餌し始める以前より食欲が旺盛になった。粗飼料の喰い込みがもの凄く増えて、粗飼料の給餌回数が日に1回で間に合っていた子牛が1日に2回・3回やるようになって腹がパンパン出るようになった。

御蔭でデブでない骨太で体格が良い子牛に仕上がるようになった。暑い時期を含めてDGが上がり、安定して良い牛を出荷できるようになってきました。濃厚飼料を給与する事による肝機能への負担を軽減すると思います。母牛に分娩前から給餌すると、出てくる子牛が健康で丈夫になる事も実感しています。特に、この数年間は下痢や風邪が減り、獣医師の診療回数が極端に減ったので自分自身のストレスも減りました。ホルスタインの様に、高タンパク質の餌を食べる牛には、是非使用して頂きたいです。

**事業案内** [動物用飼料]

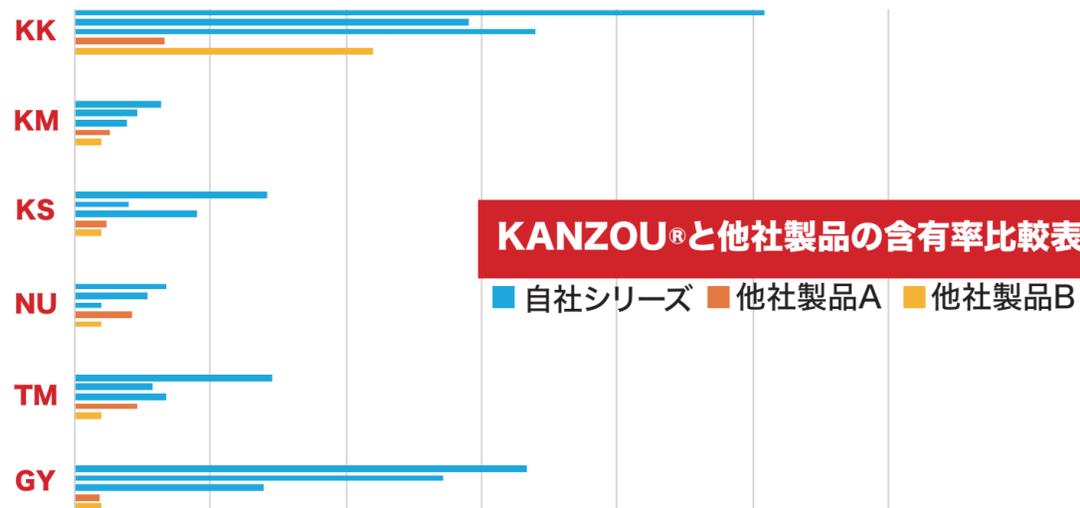
**株式会社 ファブリック大西**

弊社は日本製の甘草抽出物を中心に2011年から動物用飼料・飼料添加物の販売をしております。皆様にご好評頂いております甘草KANZOU®シリーズは、皆様に安心と安全をお届けするため、原料の調達からこだわりをもって製品化させていただいております。原料となる甘草は、甘草産地として有名な中国では無く、中央アジアやユーラシア大陸(タジキスタン、カザフスタン、アゼルバイジャン、ロシア)に合弁工場を持ち原料調達をシフトしている医薬品原料の甘草抽出物において、世界トップシェアを誇る企業と手を組み甘草の調達を行っております。各地で調達された原料を日本国内に持ち込み、弊社製品の甘草KANZOU®として製造を行い皆様のお手元に届けております。出荷にあたり、製造された全ての製品は、国内試験機関で出荷判定の確認試験を実施し、弊社製品規格に合格した製品のみを出荷させて頂いております。

上記企業とパートナーシップを結んだ事で、安全且つ安定的な製品供給実現を目指すと共に、原料のトレースが出来るようになった事が弊社製品の最大の特長です。いつ、どこで収穫し、どういった経路で日本に来たか? 当たり前の事ですが海外の原料を用いる場合、それが解らないケースも多く見られます。2010年頃には甘草の有用性について確信をしておりましたが、原料のトレースの実現が壁となり製品の販売まで時間を要しました。時間はかかりましたが、自信を持って安心・安全・安定供給が可能になったと感じております。弊社が原料のトレースを譲れないポイントとしていた背景は家畜伝染病等の不測のトラブルが発生した際、供給が止まる可能性を考えたからです。しかし、弊社が取り組んだ原料調達方法で、万一、家畜伝染病の流行があった際でも、発生地を避けた調達や、輸送経路の変更が可能で安心して安全な製品の供給が、可能となりました。また同時に、天然資源である甘草の資源保護への取り組みも開始しました。

ぜひ、弊社の甘草KANZOU®で【日本品質(ジャパंकオリティー)】を体験して下さい。

**【甘草とは】** 宏輝株式会社 甘草営業部 本多 潔  
近年、ヒト医療において甘草に含まれるグリチルリチン酸が体の抵抗力を高めるほか、肝機能の改善、ストレス軽減など多くの効果が確認されております。



株ファブリック大西のKANZOU®シリーズは、牛・軽種牡馬等の大動物が持つ本来の能力を引き出す事に特化した成分含有量・配合比率に仕上げた製品です。推奨給与量・期間は、共同研究開発のデータ等を基に算出しております。一般の甘草抽出物とは異なります。

**肉牛・人工授精所・乳牛(採卵・子牛・育成・繁殖・肥育・種牛など)だけでなく、軽種牡馬、繁殖牝馬牧場・JRA競走馬など、幅広い分野で御利用頂いております。**

**KANZOU®シリーズ製品紹介**

**👑 甘草KANZOU®【粉状・粒状】** 推奨対象牛: 子牛・繁殖牛・採卵牛、及び全般



形状は、粉末・顆粒タイプの2種類あります。配合飼料等と混ぜて給与するなど、各々の特性を活かして色々な方法で御利用頂いております。  
\*但し、本製品は水溶性ではありません。

\*仮に、KANZOU粉状を代用乳に混ぜる場合は、事前に代用乳粉末と良く混ぜた後にお湯を注いで下さい。代用乳内で分散し易くなります。

**👑 甘草KANZOU®【蜜】** 推奨対象牛: 子牛、及び全般



形状は、微粉末タイプとなります。粉・粒状とは異なり、代用乳や飲水に溶けやすい水溶性となります。デメリットとしては、飛散し易く、水分(湿気)に弱い事です。

**👑 甘草KANZOU®【膏】** 推奨対象牛: 肥育牛、及び全般



形状は、顆粒タイプとなります。全ての用途で御利用頂けるように、独自の製法技術により成分を余す事なく抽出した製品です。  
\*水溶性ではありません。  
\*本製品の推奨給与量は他製品の半分となっております。

| 製品名          | 形状 | 包装単位/入れ目 | 外袋   | 内袋  |
|--------------|----|----------|------|-----|
| 甘草KANZOU【粉状】 | 粉末 | 1kg、5kg  | アルミ袋 | ポリ袋 |
| 甘草KANZOU【粒状】 | 顆粒 | 1kg、5kg  | アルミ袋 | ポリ袋 |
| 甘草KANZOU【蜜】  | 粉末 | 1kg、5kg  | アルミ袋 | ポリ袋 |
| 甘草KANZOU【膏】  | 顆粒 | 0.5kg    | アルミ袋 | なし  |
| 甘草KANZOU【膏】  | 顆粒 | 1kg、5kg  | アルミ袋 | ポリ袋 |

※ 全製品、毎ロットの定量試験を実施し、規格適合を厳しく管理しております。  
※ 使用上・保存上の注意  
直射日光・高温多湿を避けて保存して下さい。開封後はなるべく早くご使用下さい。

KANZOU®をご利用頂いたお客様の声をご紹介します。  
矢印の方向に注目して声を感じて下さい。

代謝機能・免疫

繁殖・受胎率

牛・馬の発情

粗飼料の食い込み

子牛の発育・食欲

飼料効率・工サ代

受精卵受胎率

子牛の単価

枝肉重量

毛並・毛艶

収益性

受精卵数・質

乳体細胞数

空胎期間

胎盤停滞

獣医師の診療回数

導入時のストレス

下痢・風邪

人工授精師訪問回数

暑熱・寒冷期ストレス

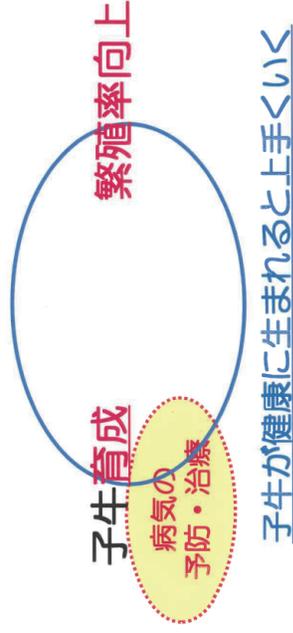
食い止まり

種付け回数

肝臓廃棄率

未受精卵・変質卵

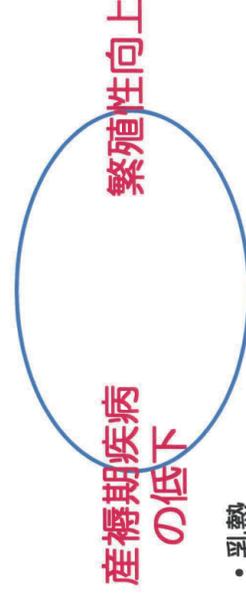
## 収益性の向上（肉牛）



- 健康な子牛を産んだ母牛は、健康で繁殖が良い
- 繁殖は、分娩前から始まっている

P14

## 収益性の向上（乳牛）



- ・ 乳熱
- ・ 胎盤停滞
- ・ 乳房炎
- ・ ケーシ
- ・ 第四胃変位

提供: CRCキャトルリサーチセンター 酪農学園大学 名誉教授 小岩政照

P15

## CRCキャトルリサーチセンター 酪農学園大学 名誉教授 小岩政照

最近、獣医師や酪農家から、「毎日が病気との闘い」と言う話を耳にする様になってきました。病気と繁殖性は、酪農畜産にとって、最も大きなテーマです。

また、乳牛にとって肝臓の強化は、健康を維持して分娩後の病気を減少させる予防対策であり、生乳増産と長命連産の鍵となります。

近年、飛躍的な育種改良によって泌乳量が2倍・3倍に増加しましたが、乳牛の体は2倍・3倍にはなっていません(確かに体格は大きくなっていますが)。

泌乳量の増加に伴って、内臓への負担が増し、特に、代謝に関わる肝臓への負担が大きくなっています。生乳生産量の増加に伴い、乳牛は沢山のカロリーとタンパクの餌を必要とし、不足が生じた際には体脂肪をエネルギー源にします。その機能を担うのが肝臓であり、体脂肪の代謝や脂肪蓄積によって肝臓への負担が増えて肝臓機能が低下し、病気になりやすくなります。

さらに、代謝機能の増加に伴って、繁殖に関わるホルモン代謝も促進して、明瞭な発情兆候を示す乳牛が減少する要因になっています。

育種改良によって乳量は増えましたが、代謝による肝臓への負担が大きくなり、繁殖性(受胎率)が低下していると言えます。従来から、分娩間隔は1年1産しないと収益性が向上しないと言われていますが、近年、分娩間隔が短縮するどころか延長しています。また、従来に比べて、病気の発病率はやや低下する傾向にありますが、初診時における病気の病勢が増加しており、死廃率は漸次増加しています。特に、分娩時から泌乳ピーク時は、最も肝臓に負担が掛かり免疫性が下がる時期だと言えます。

前述した様に、獣医師や酪農家から聞かれる「毎日、病気との闘い」は、乳牛の肝機能低下に起因していると考えられ、その予防対策が切望されています。

(株)ファブリック大西の“KANZOU®”は、肝臓の健康維持に有効な飼料添加剤です。本製品は合成物ではなく、天然の植物由来であり、安心・安全に使用できます。近年の病気を発病した乳牛は、見た目以上に病気が進行している例が多く、その主な要因は潜在的な肝臓機能低下に起因しています。その予防対策として、肝臓機能の健康維持の効果が確認されている(株)ファブリック大西の“KANZOU®”は、有効な飼料添加剤であると考えます。

P.14